



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 大日本塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4611 URL <https://www.dnt.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 里 隆幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦

TEL 06-6266-3102

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	34,855	6.2	1,773	1.6	2,031	15.9	1,323	43.7
2022年3月期第2四半期	32,817	8.0	1,746	114.2	1,752	68.7	920	122.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,945百万円 (69.0%) 2022年3月期第2四半期 1,151百万円 (717.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	46.68	46.29
2022年3月期第2四半期	32.52	32.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	91,624	53,115	54.6	1,757.89
2022年3月期	87,705	51,991	55.9	1,730.00

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 49,984百万円 2022年3月期 49,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		25.00	25.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	7.5	3,800	19.4	4,200	21.2	3,300	62.4	116.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	29,710,678 株	2022年3月期	29,710,678 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,276,092 株	2022年3月期	1,377,931 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	28,355,140 株	2022年3月期2Q	28,315,106 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する防疫と経済活動の両立が進む一方、ウクライナ情勢の長期化がもたらす世界的なサプライチェーンの混乱や原材料価格の上昇、更には急激な円安進行により景気の下振れリスクが高まるなど、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの経営成績については、売上高は、各セグメントにおける価格転嫁の進展により、348億5千5百万円（前年同期比 6.2%増）となりました。利益面では、価格転嫁の進展と照明機器事業の好調な推移により、営業利益は17億7千3百万円（同 2千7百万円増）、経常利益は20億3千1百万円（同 2億7千9百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億2千3百万円（同 4億2百万円増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[国内塗料事業]

一般用分野では、構造物用塗料が堅調に推移いたしました。工業用分野では、建材用塗料やプラスチック用塗料の需要が減少し、販売は低調に推移いたしました。当セグメントの売上高は、価格転嫁の進展により前年同期を上回りました。利益面では、原材料価格上昇の影響を補うまでには至らず、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は、260億1千7百万円（前年同期比 6.7%増）、営業利益は8億2千9百万円（同 2億4千8百万円減）となりました。

[海外塗料事業]

東南アジア及び北中米地域では、主要顧客の生産減少を受け自動車部品用塗料の需要が減少しました。中国では、新規顧客の獲得により焼付用塗料の販売が伸びましたが、上海市のロックダウンの影響により自動車部品用塗料の需要が減少しました。当セグメントの売上高は、円安による為替換算の影響により、前年同期を上回りました。利益面では、原材料価格上昇の影響を受け、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は、35億4千3百万円（前年同期比 1.3%増）、営業利益は1億8千8百万円（同 7千5百万円減）となりました。

[照明機器事業]

業務用LED照明分野では、商業施設向けや建築向けの需要が回復したことに加え、原材料価格上昇に対する価格転嫁の実施により、売上高は前年同期を上回りました。利益面では、売上増加のほか、経費削減に努めたことで前年同期を上回りました。

この結果、売上高は、39億7百万円（前年同期比 8.5%増）、営業利益は5億1千7百万円（同 3億4百万円増）となりました。

[蛍光色材事業]

加工品分野では、各種イベント類の再開等を受け需要が回復基調にあります。顔料分野では、国内市場において主要顧客の需要が減少し、当セグメントの売上高は前年同期を下回りました。利益面では、原材料価格上昇に対する価格転嫁や経費削減により、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は、5億5千8百万円（前年同期比 10.1%減）、営業利益は3千2百万円（同 5百万円増）となりました。

[その他事業]

売上高は、8億2千9百万円（前年同期比 15.9%増）、営業利益は6千4百万円（同 1千8百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は916億2千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して39億1千8百万円の増加となりました。流動資産は374億9千6百万円で前連結会計年度末と比較して27億2千3百万円の増加となりましたが、これは現金及び預金の減少3億1千3百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加18億8千4百万円、棚卸資産の増加11億5千万円等が主因であります。固定資産は541億2千7百万円で前連結会計年度末と比較して11億9千5百万円の増加となりましたが、これは有形固定資産の増加12億6千3百万円等が主因であります。

負債は385億9百万円となり、前連結会計年度末と比較して27億9千5百万円の増加となりました。流動負債は292億3千7百万円で前連結会計年度末と比較して34億4千6百万円の増加となりましたが、これは支払手形及び買掛金の増加4億3千8百万円、短期借入金の増加32億円、製品補償引当金の減少1億4千8百万円、リース債務の増加1億6千万円、その他の減少1億7千6百万円等が主因であります。固定負債は92億7千1百万円で前連結会計年度末と比較して6億5千1百万円の減少となりましたが、これは長期借入金の減少3億円、リース債務の減少1億4千5百万円、繰延税金負債の減少2億1千9百万円等が主因であります。

純資産は531億1千5百万円で前連結会計年度末と比較して11億2千3百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加5億9千1百万円、自己株式の減少1億1千6百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億1千3百万円、為替換算調整勘定の増加10億3千万円、退職給付に係る調整累計額の減少4億5千5百万円、非支配株主持分の増加2億3千1百万円が主因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年10月27日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,777	6,463
受取手形、売掛金及び契約資産	16,411	18,295
商品及び製品	5,603	6,264
仕掛品	905	990
原材料及び貯蔵品	3,720	4,124
その他	1,386	1,386
貸倒引当金	△31	△28
流動資産合計	34,773	37,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,323	22,966
減価償却累計額	△14,449	△14,869
建物及び構築物（純額）	7,873	8,097
機械装置及び運搬具	23,441	23,993
減価償却累計額	△19,669	△20,159
機械装置及び運搬具（純額）	3,772	3,834
土地	11,498	12,302
リース資産	1,902	1,773
減価償却累計額	△1,001	△1,002
リース資産（純額）	900	770
建設仮勘定	209	301
その他	6,820	7,269
減価償却累計額	△5,483	△5,721
その他（純額）	1,336	1,548
有形固定資産合計	25,591	26,854
無形固定資産		
リース資産	120	96
その他	254	238
無形固定資産合計	374	334
投資その他の資産		
投資有価証券	7,324	6,880
繰延税金資産	1,794	1,810
退職給付に係る資産	17,264	17,706
その他	608	565
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	26,965	26,938
固定資産合計	52,932	54,127
資産合計	87,705	91,624

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,340	16,779
短期借入金	3,050	6,250
リース債務	312	473
未払法人税等	429	458
役員賞与引当金	56	—
製品補償引当金	370	222
その他	5,230	5,053
流動負債合計	25,790	29,237
固定負債		
長期借入金	1,200	900
リース債務	981	835
繰延税金負債	5,436	5,216
再評価に係る繰延税金負債	1,303	1,303
退職給付に係る負債	938	965
環境対策引当金	8	—
その他	54	49
固定負債合計	9,923	9,271
負債合計	35,713	38,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,440	2,440
利益剰余金	29,417	30,008
自己株式	△1,582	△1,465
株主資本合計	39,101	39,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,027	2,714
土地再評価差額金	1,882	1,882
為替換算調整勘定	△2	1,027
退職給付に係る調整累計額	5,006	4,550
その他の包括利益累計額合計	9,913	10,174
新株予約権	243	166
非支配株主持分	2,732	2,963
純資産合計	51,991	53,115
負債純資産合計	87,705	91,624

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	32,817	34,855
売上原価	22,870	24,846
売上総利益	9,946	10,009
販売費及び一般管理費	8,200	8,235
営業利益	1,746	1,773
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	120	135
為替差益	26	114
その他	124	127
営業外収益合計	281	383
営業外費用		
支払利息	36	39
支払補償費	78	20
製品補償引当金繰入額	101	—
その他	57	66
営業外費用合計	275	126
経常利益	1,752	2,031
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産処分損	76	33
減損損失	—	71
その他	—	24
特別損失合計	76	128
税金等調整前四半期純利益	1,675	1,902
法人税、住民税及び事業税	307	383
法人税等調整額	309	113
法人税等合計	617	497
四半期純利益	1,058	1,405
非支配株主に帰属する四半期純利益	137	81
親会社株主に帰属する四半期純利益	920	1,323

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,058	1,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133	△313
為替換算調整勘定	364	1,308
退職給付に係る調整額	△404	△455
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	92	539
四半期包括利益	1,151	1,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	998	1,584
非支配株主に係る四半期包括利益	152	360

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,675	1,902
減価償却費	1,282	1,173
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△44	△56
退職給付に係る資産負債の増減額	△1,003	△1,071
製品補償引当金の増減額 (△は減少)	99	△148
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	—	△8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△2
受取利息及び受取配当金	△130	△142
支払利息	36	39
為替差損益 (△は益)	△18	△59
持分法による投資損益 (△は益)	△1	△2
固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
固定資産処分損益 (△は益)	76	33
減損損失	—	71
売上債権の増減額 (△は増加)	292	△1,615
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△800	△835
仕入債務の増減額 (△は減少)	401	200
その他	△44	△202
小計	1,823	△724
利息及び配当金の受取額	131	142
利息の支払額	△36	△39
事業構造改善費用の支払額	△43	△24
法人税等の還付額	336	183
法人税等の支払額	△372	△361
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,839	△823
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△84	△97
定期預金の払戻による収入	84	104
有形固定資産の取得による支出	△613	△2,101
有形固定資産の売却による収入	13	126
有形固定資産の除却による支出	△89	△8
無形固定資産の取得による支出	△42	△20
投資有価証券の取得による支出	△7	△5
その他	△17	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△758	△1,998
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400	3,200
長期借入金の返済による支出	△300	△300
リース債務の返済による支出	△208	△181
配当金の支払額	△707	△708
非支配株主への配当金の支払額	△74	△129
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,690	1,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	122	598
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△486	△342
現金及び現金同等物の期首残高	6,736	6,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,250	6,136

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式22,455株の処分を行いました。また、ストックオプションの権利行使に伴い自己株式79,400株の処分を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が117百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,465百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である日塗化学株式会社及びビーオーケミカル株式会社は、2022年4月1日付で日塗化学株式会社を存続会社、ビーオーケミカル株式会社を消滅会社とする吸収合併を行っており、消滅会社のビーオーケミカル株式会社を連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	24,380	3,498	3,602	620	32,102	715	32,817	—	32,817
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	464	—	28	40	533	1,178	1,712	△1,712	—
計	24,845	3,498	3,630	661	32,636	1,894	34,530	△1,712	32,817
セグメント利益	1,077	264	213	27	1,583	45	1,629	116	1,746

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額116百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	26,017	3,543	3,907	558	34,026	829	34,855	—	34,855
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	536	5	26	50	619	1,188	1,807	△1,807	—
計	26,554	3,548	3,933	608	34,645	2,017	36,662	△1,807	34,855
セグメント利益	829	188	517	32	1,569	64	1,633	140	1,773

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額140百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの固定資産の減損損失の計上額は、「国内塗料」において71百万円であります。

なお、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

固定資産の譲渡

当社は、2022年10月27日開催の取締役会において、固定資産の譲渡を行うことについて決議いたしました。

詳細につきましては、2022年10月27日に公表いたしました「固定資産の譲渡及び特別利益の計上並びに連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。